

2020年2月28日

受益者の皆様へ

岡三アセットマネジメント株式会社

当社投資信託の基準価額の下落について

国内外の株式市場等の下落を受けて、以下の当社投資信託の2020年2月28日の基準価額が大きく下落しましたので、お知らせいたします。

○ 基準価額および騰落率 (2月28日現在)

| ファンド名 | 基準価額 (円) | 騰落幅 (円) (2月27日比) | 騰落率 (%) (2月27日比) |
|--|----------|---------------------|---------------------|
| 日本中小型ディスカバーオープン | 16,585 | ▲993 | ▲5.65 |
| 日本Jリートオープン (毎月分配型) | 6,895 | ▲395 | ▲5.42 |
| 日本Jリートオープン (1年決算型) | 16,718 | ▲958 | ▲5.42 |
| インフラ関連好配当資産ファンド (毎月決算型) (米ドル投資型) (愛称: インフラ・ザ・ジャパン (米ドル投資型)) | 8,953 | ▲480 | ▲5.09 |
| 中小型成長株オープン (愛称: スモール・モンスターズ・ジャパン) | 16,159 | ▲1,365 | ▲7.79 |
| ニッポン成長株オープン (愛称: 一等星) | 8,240 | ▲617 | ▲6.97 |
| 次世代モビリティオープン(為替ヘッジなし) | 9,461 | ▲522 | ▲5.23 |
| ワールド・リート・セレクション (米国) (愛称: 十二絵巻) | 1,992 | ▲127 | ▲5.99 |
| ワールド・リート・セレクション (米国) (1年決算型) (愛称: 十二絵巻 (1年決算型)) | 16,736 | ▲1,057 | ▲5.94 |
| ワールド・リート・セレクション (米国) 為替ヘッジあり (1年決算型) (愛称: 十二絵巻 (為替ヘッジあり) (1年決算型)) | 13,817 | ▲730 | ▲5.02 |
| グローバル・リート・セレクション | 5,037 | ▲272 | ▲5.12 |
| 北米リート・セレクトファンド Bコース(定額目標分配型/為替ヘッジなし) (愛称: ほくと星) | 9,902 | ▲636 | ▲6.04 |
| 北米リート・セレクトファンド Dコース(定率目標分配型/為替ヘッジなし) (愛称: ほくと星) | 9,921 | ▲636 | ▲6.02 |
| 北米リート・セレクトファンド Fコース(資産成長型/為替ヘッジなし) (愛称: ほくと星) | 10,778 | ▲690 | ▲6.02 |

(注) インデックス型ファンド、ブル・ベア型ファンド及びDCを除く

○ 基準価額の主な変動要因

【海外株式市場の下落】

新型コロナウイルスに関して、世界的な感染拡大が続いており、米国においても感染者数が増大すると懸念が高まっています。これにより、製造業のサプライチェーンなどに対してさらなる悪影響が出てくると考えられ、世界景気の減速懸念が一段と高まっています。これまで新型コロナウイルスによる影響は軽微であると考えられていた米国においても、企業が売上未達見通しを発表するなど、新型コロナウイルスの米国経済に対する影響が明らかになってきたことから、米国の株式市場が27日に大きく下落する展開となりました。

【北米および米国リート市場の下落】

前述の米国株式市場の大幅下落の影響を受け、北米および米国リート市場も大幅に下落しました。北米リート指数 (FTSE EPRA/NAREIT Developed North America REITs Total Return Index) は、27日に前日比▲5.32%、米国リート指数 (FTSE NAREIT All Equity REITs Total Return Index) は、同▲5.48%となりました (以上、日付は全て米国時間)。

【日本株式およびリート市場の下落】

前述の米国株式市場の大幅下落や、それを受けたアジアの株式市場の下落、対米ドルでの円高進行の影響により、日本株式市場も新興市場を含めて大幅に下落しました。また、リート市場においても、新型コロナウイルスが、ホテルや商業施設などの客足に悪影響を及ぼすとの考えから大幅に下落しました。

【外国為替市場での円高】

世界的な株安進行の流れを受け、投資家の間でリスク回避姿勢が高まったため、円が買われる展開となり、28日の米ドルは109.43円 (前日比0.89円の円高) となりました。

【主な株価指数の動き】

| 指数 | 2月27日 | 2月26日 | 騰落幅 | 騰落率 |
|----------------------------|--------|--------|--------|--------|
| MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス | 521.92 | 539.82 | ▲17.90 | ▲3.32% |

| 指数 | 2月28日 | 2月27日 | 騰落幅 | 騰落率 |
|---------------------|----------|----------|---------|--------|
| 日経平均株価 (日本) | 21142.96 | 21948.23 | ▲805.27 | ▲3.67% |
| 東証株価指数 (TOPIX) (日本) | 1510.87 | 1568.06 | ▲57.19 | ▲3.65% |
| 東証マザーズ指数 (日本) | 700.63 | 747.57 | ▲46.94 | ▲6.28% |
| 東証REIT指数 (日本) | 2017.50 | 2137.21 | ▲119.71 | ▲5.60% |

| 指数 | 2月27日 | 2月26日 | 騰落幅 | 騰落率 |
|---|----------|----------|----------|--------|
| FTSE EPRA/NAREIT Developed North America REITs Total Return Index (北米リート指数) | 2316.40 | 2446.62 | ▲130.22 | ▲5.32% |
| FTSE NAREIT All Equity REITs Total Return Index (米国リート指数) | 20616.89 | 21811.54 | ▲1194.65 | ▲5.48% |

(注) MSCI 指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) Bloomberg データより岡三アセットマネジメント作成

【主な通貨の動き (対円)】

| 為替 | 2月28日 | 2月27日 | 騰落幅 | 騰落率 |
|-----|--------|--------|-------|--------|
| 米ドル | 109.43 | 110.32 | ▲0.89 | ▲0.81% |

(注) 外国為替相場は一般社団法人 投資信託協会の諸規則等に基づく基準価額算出に使用するレートを記載

以上

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

- お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.85%（税抜3.5%）
 - お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内
 - お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×実質上限年率2.09%（税抜1.90%）
※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）
※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
※監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社
事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
登録：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214（当社営業日の9:00～17:00）